



2018年3月期 第2四半期
決算説明資料

SHIMA SEIKI 

2018年3月期第2四半期業績概要

増収増益、営業利益率22%

(百万円)	2018年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	2017年3月期
売上高	35,569	29,615	62,432
営業利益	8,060	5,500	11,262
経常利益	8,884	2,310	10,043
親会社株主に 帰属する 当期純利益	6,529	1,683	7,198

(第2四半期)為替レート

ドル・円	112.73	101.12	期末為替レート(上段)
	111.18	105.91	平均売上レート(下段)
ユーロ・円	132.85	113.36	
	127.08	118.44	

ハイライト

事業概況

横編機事業・・・

- ・ASEAN諸国やバングラデシュで前期に引き続き、設備投資が活発に推移し、「SVR」、「SSR」シリーズの売上が拡大しました。
- ・中国国内では、ホールガーメント横編機導入が進み、シューズ関連投資も進みました。
- ・欧州では、イタリアにおいてホールガーメント横編機の販売が伸長しましたが、欧州全体では前年並みとなりました。
- ・中東・トルコは、夏ごろより回復が見られますが、売上は減少しました。

デザインシステム事業・・・

- ・デザインシステム「SDS-ONE APEX3」、自動裁断機「P-CAM」とも販売が堅調に推移しました。

手袋靴下編機事業・・・

- ・大手メーカーの設備更新が進んだものの前期実績をやや下回りました。

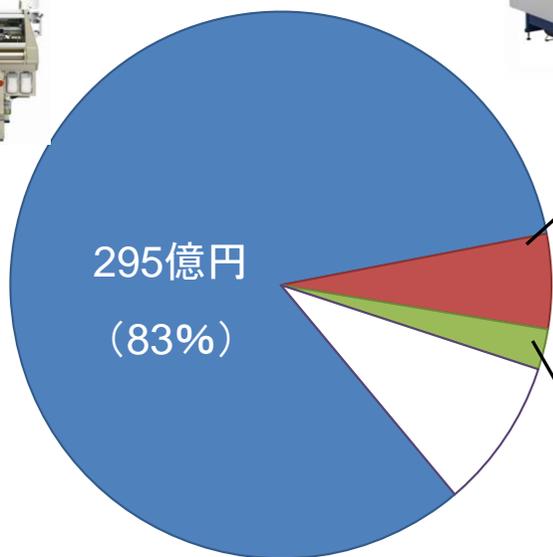
利益面

- ・売上高の増加に加えて、増産効果による売上総利益率(48%)の改善で営業利益は増加しました。
- ・前年の為替差損の計上から為替差益に転じたことで、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については前年同期比3倍を超える大幅な増加となりました。

事業セグメント別売上高

横編機事業で大幅増収

横編機事業



連結売上高: 355億円

()は構成比

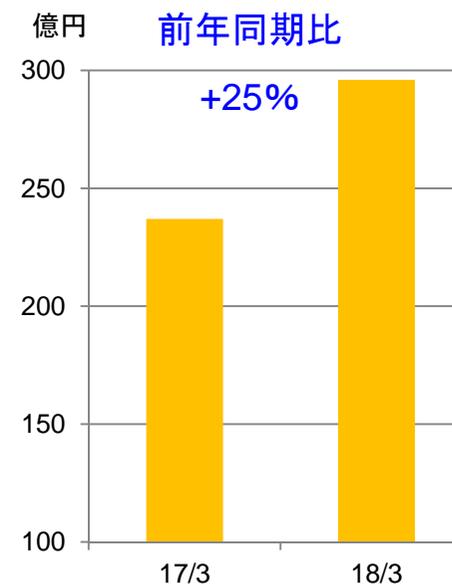


デザインシステム
19億円(6%)



手袋靴下編機
8億円(2%)

横編機事業

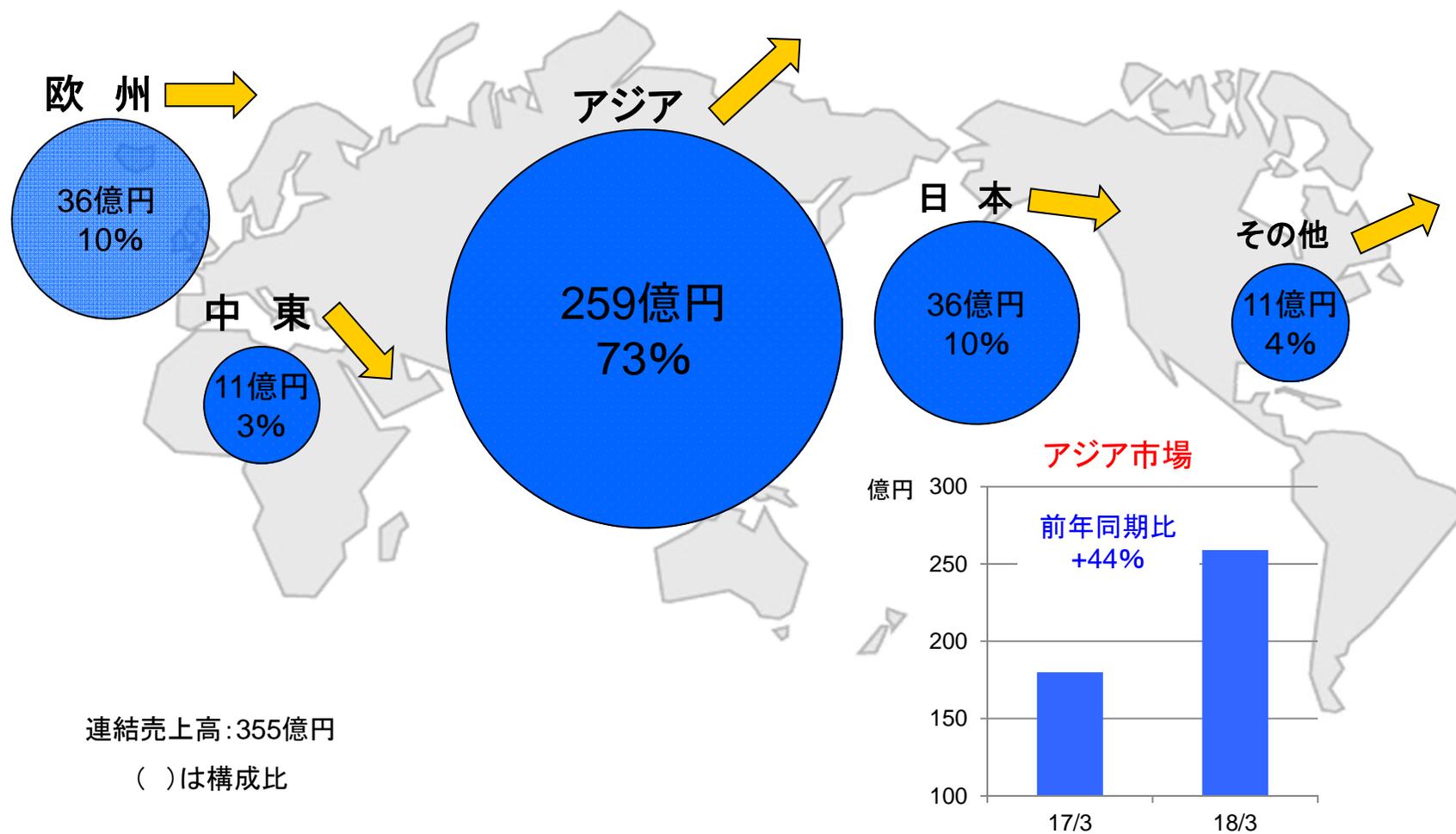


事業セグメント別売上高・営業利益（第2四半期）

	(百万円)			
	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比
横 編 機	29,569	+24.5%	9,868	+33.9%
デザインシステム	1,980	+9.9%	564	+54.0%
手袋靴下編機	869	△5.4%	194	△11.4%
そ の 他	3,150	△0.1%	388	+1.9%
消 去			△2,955	—
合 計	35,569	+20.1%	8,060	+46.5%

連結地域別売上高・割合

アジア市場が好調で大幅増収



連結売上高:355億円

()は構成比

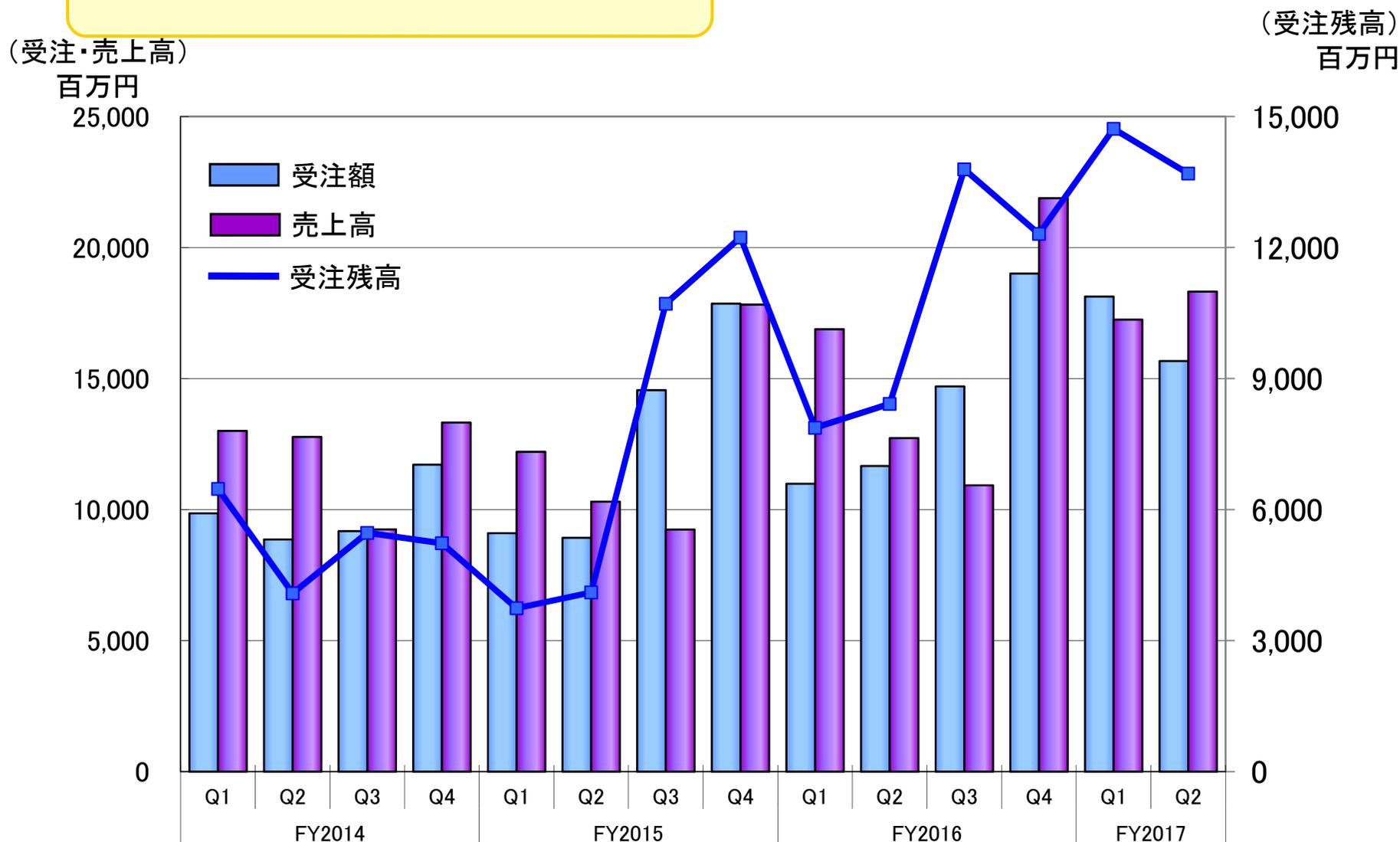
連結地域別売上高

(百万円)

地 域	当 期	前 期	前期比
日 本	3, 620	3, 964	△8. 7%
欧 州	3, 668	3, 710	△1. 1%
ア ジ ア	25, 962	18, 075	+43. 6%
中 東	1, 147	3, 043	△62. 3%
その他(海外)	1, 170	821	+42. 4%
合 計	35, 569	29, 615	+20. 1%

受注・売上・受注残四半期推移〔連結〕

受注好調、受注残も高水準



四半期別業績推移〔連結〕

	2016/3				2017/3				2018/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	12,207	10,305	9,244	17,825	16,885	12,730	10,929	21,886	17,251	18,318
営業利益	1,192	800	697	3,091	3,791	1,709	899	4,862	3,747	4,313
経常利益	2,218	219	707	1,387	990	1,320	2,629	5,102	4,181	4,702
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,422	198	366	1,282	873	810	1,802	3,711	3,048	3,480

受注高	9,104	8,928	14,559	17,863	10,989	11,665	14,704	19,011	18,130	15,670
受注残高	3,741	4,103	10,712	12,229	7,873	8,421	13,790	12,312	14,718	13,693

当期の取り組み

世界各地で、展示会に出展、個展、セミナーを開催

2017年11月16日、17日 創立55周年記念イベントを開催 国内外顧客を招き、最新技術をPR



中期経営計画「Ever Onward 2017」

2018年3月期は中期経営計画の最終年度

4つの重点施策

・横編機事業の最強化

ホールガーメント横編機を核とした革新的なマーケティング手法の提案強化などにより、顧客満足度をさらに高め、コアビジネスである横編機事業をより一層強靱なものにする。

・独自性をもった事業範囲の拡大

ホールガーメント技術など当社独自の技術を活用し、非衣料市場への横編機事業の展開や自動裁断機事業の強化など、革新的な事業の創出、差別化戦略を推進する。

・収益構造の改革

アフターセールス強化などの収益源の多様化、営業キャッシュフローの改善など、事業・業務の抜本的な見直しにより、持続可能な収益源の確保と戦略的なコスト削減を進める。

・経営基盤の強化

創造力のある人材・多様性のある人材の採用・育成など、人材面を中心に、全般的な経営資源の整備を進めるとともに、CSRをさらに重視した経営体制を構築する。

2017年度連結目標 (2018年3月期)	売上高	730億円
		(当初計画700億円)
	営業利益	150億円
	経常利益	150億円
	当期純利益	100億円
	R O E	8.5%

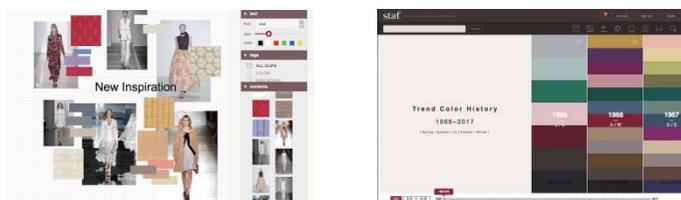
新しい分野への取り組み

新しいソフトウェア開発を開始

- 2016年9月 オリジナリティあるものづくりを支援する新しいWEBサービス「staf」を発売
- 2017年4月、世界初の横編み業界専用のPLMソリューション「Shima KnitPLM」を発売

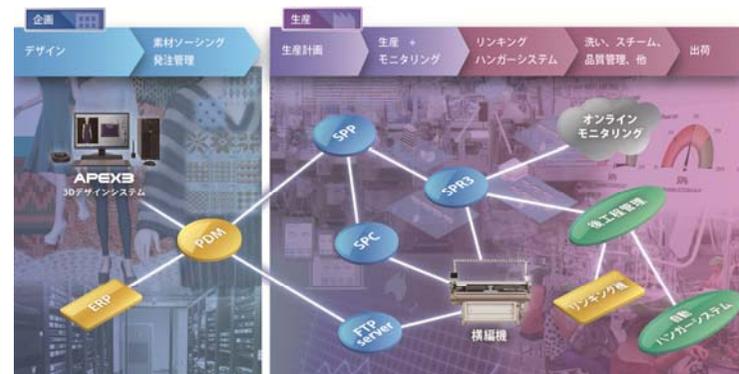
「staf」

「staf」は過去50年分のファッションアーカイブ&トレンド情報及び様々なコンテンツが用意されたWEBサービスです。直感的&簡単に操作できるツールで情報を整理し、商品企画がおこなえ、ファッション業界におけるモノづくりをあらゆるステージでサポートします。



「Shima KnitPLM」

ファッション市場のグローバル化と多様化に伴い、さらに高速で短サイクルの生産が要求されるようになりました。Shima KnitPLM(PLM=製品ライフサイクル管理)では、最新のIoT技術により、ニット生産の全行程での生産性を向上させます。また、生産計画と管理そしてモニタリングで生産の最適化を図り、生産効率を高めます。



新分野を開拓

ホールガーメントの技術をファッションの枠にとどめず、多彩な分野に拡げ、横編みと裁断技術を併せ持つ当社オリジナルの提案を積極的に推進し、需要の拡大を目指します。



立体編成技術



インレイ(横糸挿入)編成技術



PETモノフィラメント(産業資材)



炭素繊維+ナイロン



スポーツ、メディカル、ウェアラブル、
インテリア、自動車、航空宇宙、産業資材



2018年3月期業績計画

「Ever Onward 2017」

(百万円)	2018年3月期 (計画)	前年比(%)	2017年3月期
売上高	73,000	+16.9	62,432
営業利益	15,000	+33.2	11,262
経常利益	15,000	+49.4	10,043
親会社株主に 帰属する当期純利益	10,000	+38.9	7,198

通期計画の前提 為替レート 110円/ドル 120円/ユーロ

為替が1円変動した場合の営業利益への感応度 米ドル4.3億円 ユーロ0.2億円

事業セグメント別 売上高・営業利益計画〔18年3月期〕

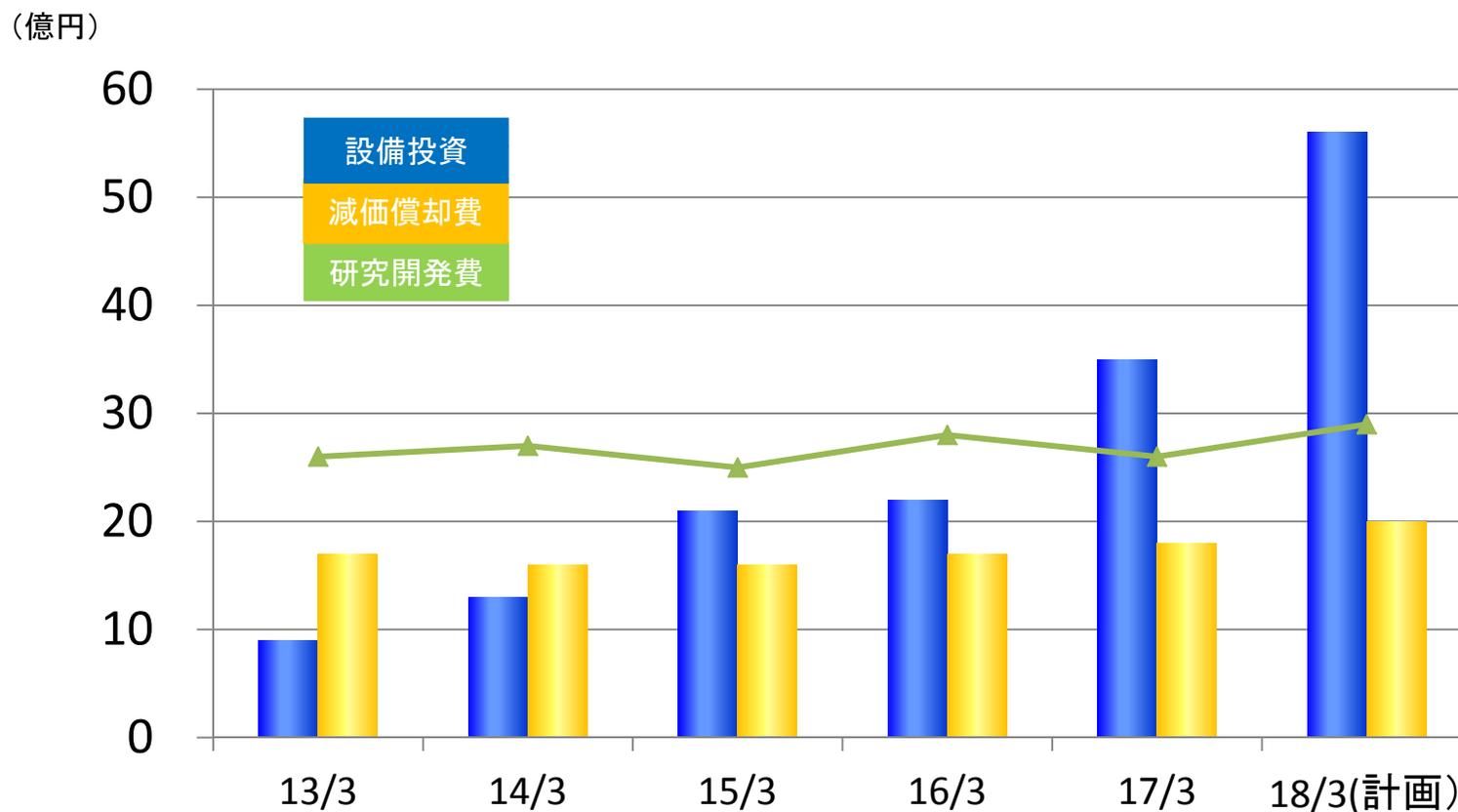
引き続き、横編機事業が牽引

(百万円)	売上高	前期比(%)	営業利益	前期比(%)
横編機	59,260	+17.6%	18,590	+23.3%
デザインシステム	5,140	+27.8%	1,240	+23.4%
手袋靴下編機	2,100	+11.3%	450	+22.6%
その他	6,500	+5.8%	720	+23.6%
消去			▲6,000	-
合計	73,000	+16.9%	15,000	+33.2%

研究開発費・設備投資等の推移①

18年3月期第2四半期(実績) 設備投資20億円、減価償却費10億円、
研究開発費14億円

18年3月期(計画) 設備投資56億円 減価償却費20億円、研究開発費29億円



研究開発費・設備投資等の推移②

新工場建設:2017年10月竣工、12月に本格稼働を見込む。



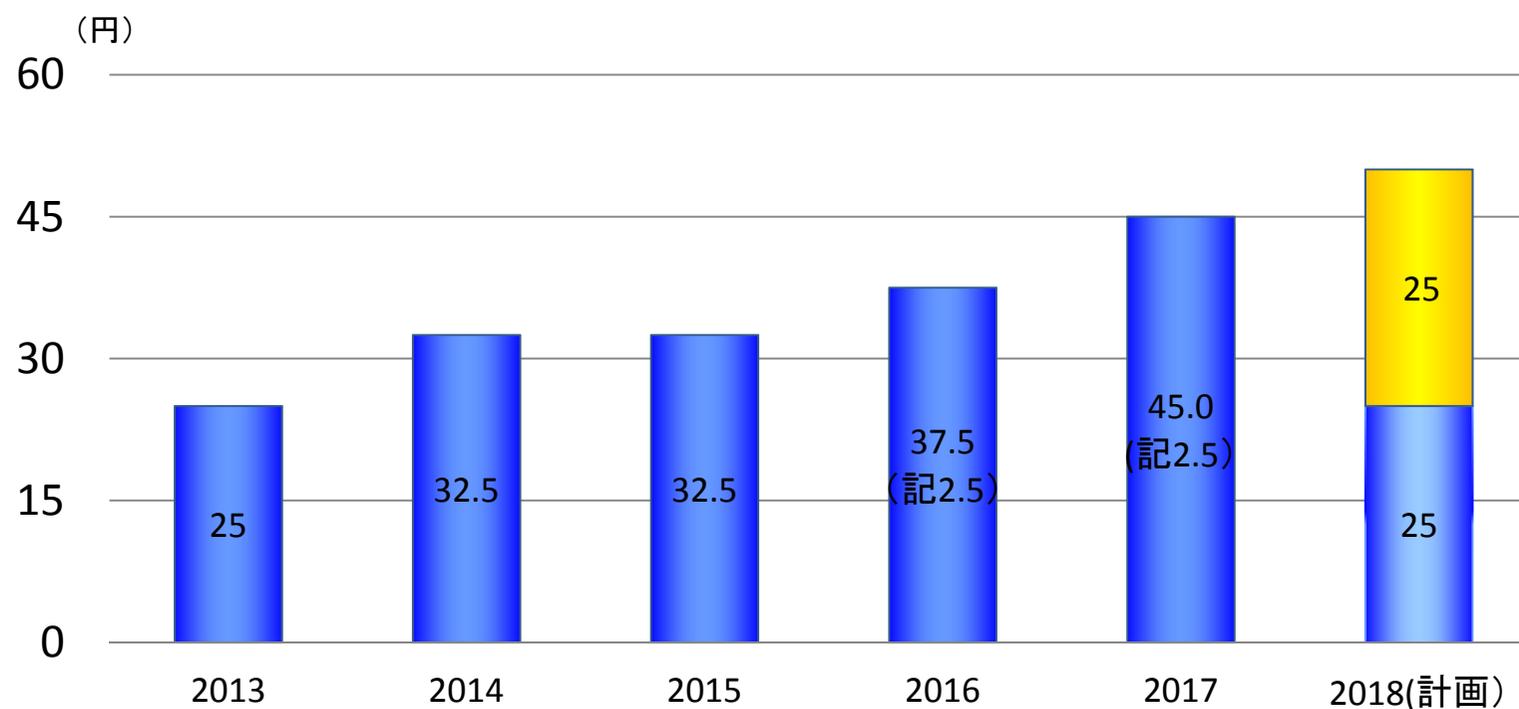
本社工場全景

＜生産能力の増強＞
横編機、自動裁断機の部品製造、
機械加工能力の強化、自動化の推進

配当の状況

1. 自己株式保有数 87,263株(発行済株式総数の0.24%)
新株予約権の発行により、自己株式200万株を活用 (8月25日)

2. 18/3期配当金 中間配当金 25円(前期比5円増配)を決定
期末配当金 25円を計画



トピックス①

『全自動手袋編機(角型)』が2017年度機械遺産に認定

【概要】

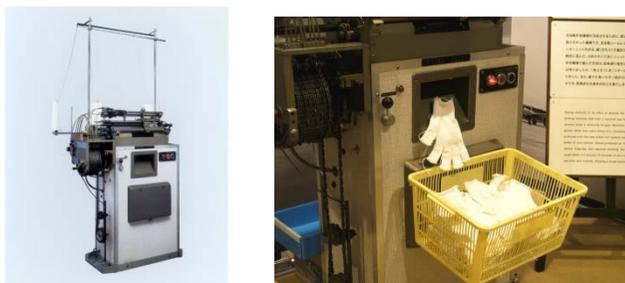
作業手袋は日本で生まれた編み物です。本機が開発されるまでは、手動機または半自動機の手袋編みが主流で、手袋を作るためには、各指や、手のひら、手首部分の接合などは必ず手作業が必要でした。

全自動化に向けた技術開発が始まり、1964年(昭和39年)に指先から手首まで一体化して編む本機が開発されました。全自動化のため、手首部分にゴム糸を編み込む方式を採用したほか、目を押し下げて編成するシンカーニット方式を採用し、安全性および品質に配慮した技術要素を採用しました。

手袋1枚を編む所要時間は作業者の熟練度に大きく左右されますが、半自動の機械でも1枚3分以上、1人で3台の管理が限界でした。本機の手袋の編成時間は1枚2分15秒で編み立てられ、1人で30台まで運転管理できるようになり、生産性が大幅に向上することになりました。

これらの技術は現在の無縫製ニットウェアを編成するホールガーメント横編機へと繋がっています。

全自動手袋編機(角型)



手袋～ホールガーメントへ



「機械遺産」とは、歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、日本国内の技術面で歴史的意義のある機械を遺産として一般社団法人日本機械学会が認定するものです。

日本機械学会HP: <https://www.jsme.or.jp/kikaiisan/index.html>

トピックス②

『無縫製ニットウェアシステム(ホールガーメント)』が 「2017年度 グッドデザイン・ベスト100」を受賞

【概要】

「ホールガーメント横編機」とデザインシステム「SDS-ONE APEX3」との組み合わせにより、繊維産業において、企画からデザイン、生産、流通、マーケティングそして販売までの全体の流れを刷新するトータル的なモノづくりの提案を高く評価されました。

【評価内容】

これまで繊維産業では、安い人件費を求めて海外に生産拠点をシフトさせてきましたが、このシステムを導入することで、企画・デザイン・生産・流通・マーケティング・販売まで一気通貫のサプライチェーンが完成されることになり、生産現場の改善が図られ、さらには縫製では表現できない立体的な商品を作ることが可能にします。消費地生産型にシフトし、在庫リスクを抱えることなく環境に配慮することが求められる製造業の先進事例としての期待と評価を受けての受賞となりました。

【グッドデザイン賞受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2017」】

受賞展「GOOD DESIGN EXHIBITION 2017」において、本年度受賞デザインとして紹介されます。

(ニットサンプル、映像他を出展)

会期:11月1日(水)～11月5日(日) 会場:東京ミッドタウン(東京都港区六本木)



「NUONE+HADACARE」発売のご案内

ホールガーメントニットウェアのブランド〈NUONE(ヌワン)〉の〈HADACARE(ハダケア)〉シリーズの商品にて日本アトピー協会による推薦品マークの承認を受けました。

〈NUONE+HADACARE〉シリーズの製品は、NUONEブランドのホールガーメントニットウェアに、素材として日本アトピー協会推薦品である〈クラビオン※〉を使用して製品化したものです。ホールガーメントに素材の機能を加味した新しい商品として仕上げました。

ホールガーメント製品は「セカンドスキン」と呼ばれる程に体によくフィットし、肌に馴染む着心地が得られるとともに、縫い代が無いことから、皮膚の敏感な方にも優しいニットウェアです。また、〈クラビオン〉は低刺激の機能性素材なので、デリケートな肌の方にも安心して着用いただけます。また、抗菌効果を持つ天然成分のキチン・キトサンが含まれているので、雑菌の増殖を防ぎ、清潔感もキープできます。

皮膚の敏感な方の衣生活に快適さと安心を提供します。

全国のNUONE直営店をはじめ、販売店、
通信販売、インターネット店で販売しております。

SHIMA Online Shop
<http://shima-onlineshop.com/>



※クラビオンはオーミケンシ株式会社の登録商標です。
※同製品の企画・製造・販売は弊社子会社の株式会社SHIMAが行っており、
日本アトピー協会による推薦品マークの承認も同社で受けております。

このプレゼンテーション資料には、2017年10月1日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界情勢・為替・金利の変動等にかかわるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。